

# 佐中だより



『人間を大事に ～自他ともに大切にすることができる～』 2021. 9. 28 (火) No. 25 文責：宮川

## 新型コロナ感染予防に協力していただきありがとうございました



運動会において、新型コロナ感染予防にご協力いただき、本当にありがとうございました。おかげさまで、観客のみなさまの検温もスムーズに進み、無事運動会を実施することができました。一時期より新型コロナ感染が落ち着きを見せ始め、少しずつ制限も解除される兆しを見せています。しかし、学校生活では教室等の消毒やマスク着用など、コロナ対策はまだまだ必要です。そのため、保護者の皆様には今後も新型コロナ感染予防にご協力をお願いいたします。

## 運動会の垂れ幕に感動

校舎3階からの運動会の垂れ幕を皆さん見てくれたでしょう？これは3人のレイアウト委員と山下先生が協力して仕上げてくれたものです。今はやりのアニメ「呪術廻戦(白)」「鬼滅の刃(紅)」のキャラクターを中心に、それぞれの垂れ幕を制作してくれました。本部席の後にいる観客の方が感動して、「あの垂れ幕、すごいねえ」と言ってくれたのがうれしかったです。



短い制作時間の中で、本当に素晴らしいできばえでした。運動会の競技でのがんばりも素晴らしいものでしたが、この垂れ幕も観客の方たちに感動を与えてくれました。本当にありがとうございました。

## 佐賀中学校の全力校歌



佐賀中学校の校歌を2学期の始業式、総練習とアカペラで歌ってきました。その練習で、子どもたちの歌声も少しずつ大きくなってきました。そこで、運動会本番では、まだまだ大きな声が出せるのではないかと期待していました。そして、運動会当日の校歌斉唱を聞いて、本当に感動しました。3年前の夏の甲子園で、金足農業高校が全力で校歌を歌い、球場全体が盛り上げを見せたことを思い出しました。このような大きな声で、観客の方たちを感動させてくれた生徒の皆さん。今後も、学校行事等で見に来てくれた観客の方を、感動させてください。期待しています。



## 「HAKA」で始まる運動会

運動会の最初の種目「HAKA A」。この種目は4年前ほどから始まったと聞きました。運動会の練習中も大きな声を出し、荒ぶる踊りを見せてくれていた男子生徒と若手男子教員。本番も期待していましたが、期待以上のものを見せてくれました。今回の運動会の成功は、最初の種目「HAKA」で約束されたと言っても過言ではないと思います。それほどすばらしい出来映えでした。



### 『人間を大事に

～自他ともに大切にすることができる～』



本校の学校教育目標『人間を大事に』のテーマが、あらゆるところにちりばめられた運動会でした。今年度は練習期間に雨が降り、外での練習が十分でなかったため、けが人がでてしまいました。しかし、けがをした人も少しでも競技に参加できるよう支え合い、声をかけ合うことができました。特に3年生の競技では、足をけがしていた男子生徒のために歩調を合わせなど、生徒の機転で競技に参加することができました。ありがとう。

## 一生懸命さがみんなの心を感動させる

運動会最後の種目となる「紅白対抗リレー」が終わると、観客の方々から拍手が起こりました。運動会の練習中には、「応援でなかなか声を出してくれない。」「長縄が跳べないときに本当にいやだった。」など、うまくいかないで悩んでいる声を聞きました。しかし、競技をやり終えたときのみなさんの顔は満足感でいっぱいなのがいい笑顔でした。達成感や満足感は自分でやりきった人でないと味わえません。そして、みんなの一生懸命さが観客の人たちに伝わり、観客の人たちも感動をお土産に家路についたと思います。

